

鳥取市議会 2018年6月議会 「2025国際博覧会の大阪の誘致に関する決議の提出について反対討論」日本共産党鳥取市議団 2018年6月25日

日本共産党の岩永です。日本共産党市議団を代表して、「2025国際博覧会の大阪の誘致に関する決議の提出について」反対しますので、その理由を述べます。

大阪府・大阪市がすすめようとしている「夢洲万博」には様々な問題点があり、誘致決議を安易にあげるのは、大阪府民・市民に対して無責任であると考えます。

第一は、万国博覧会のことばかり強調されていますが、夢洲万博はカジノ誘致とセットで提案されていることを忘れてはならないと思います。

大阪府知事は「成長の起爆剤」としてカジノを中核とする総合型リゾート（IR）と万博の相乗効果をうたっています。会場となる夢洲は390ヘクタールの100ヘクタールを万博会場、70ヘクタールをIR用地に予定し、インフラ整備をすすめる方針です。

吉村大阪市長は巨大なインフラ整備費について、「万博は期間限定だが、IRは永続的だ」と議会で答弁しています。

みなさん、そもそも、カジノは刑法で禁止されたとばくです。他人の不幸の上に成り立つビジネスです。政府はカジノによるギャンブル依存症対策をとるといいますが、すでに日本は500万人をこすギャンブル依存症大国です。カジノはやめるべきです。今、国会で議論されているカジノ実施法案をみれば、カジノ業者が顧客に金を貸せるという前代未聞の条項があったり、「暴力団をシャットアウトする保証がないなど、規制基準が不十分なものであることが分かってきています。

大阪万博のテーマ「いのち輝く未来社会」にふさわしくありません。

第二に、カジノ誘致により、地下鉄中央線の延伸、高速道路の延伸拡張とまたぞろ大型開発が計画されています。かかる費用はかさみ続ける一方です。交通インフラは業者も負担すると知事や市長はいいますが、業者は負担した分、客から取り戻そうとします。ギャンブルで吸い上げられる分が増えるだけで、庶民にとって一つもいいことはありません。

みなさん、大阪府民にとって、急がれるのは大阪北部地震からの復興です。一部損壊家屋が多く、2次災害の防止、被災者の安全確保と生活応援などの対策が急がれます。もともと、こどもの貧困がワースト2の大阪です。府民の暮らし応援が一番求められています。安易な誘致決議をあげ、大阪府民の暮らしを圧迫することにつなげてはいけないと思います。

以上、反対討論とします。